

**エジプト・アラブ共和国  
就学前の教育と保育の質向上  
プロジェクト  
事業完了報告書**

2021年10月

**独立行政法人国際協力機構**

**人間開発部**

人間
JR
21-061

2021年11月10日

## 専門家業務完了報告書

専門家氏名：神谷 哲郎

本邦所属先：ペパーソンインターナショナル株式会社

プロジェクト名：就学前の教育、保育の質向上プロジェクト

### 〈専門家活動報告〉の外部公開について

1回の派遣期間が3か月以上で専門家業務委託契約又は専門家業務に関する合意書により派遣されている技術協力個別案件の専門家及び有償資金協力専門家については、〈専門家活動報告〉が図書館にて外部公開されます（〈専門家活動報告（詳細情報）〉は非公開）。

## <専門家活動報告>

1. 派遣国：エジプト
2. 配属機関：社会連帯省社会福祉局
3. 指導科目：チーフアドバイザー
4. 派遣期間：2017年7月1日から2021年10月31日まで

### 5. 背景・当該国の課題

(プロジェクト実施の背景)

プロジェクトが開始される以前、エジプトには約20年間にわたり70名以上の青年海外協力隊員（JICA ボランティア）が保育・幼児教育分野に派遣されてきた。エジプトで活動を行うボランティアは、「子供中心の保育」を掲げ、保育・幼児教育現場における「遊び」の重要性やより良い遊びの実践方法を、ワークショップやセミナーを通じて現場の保育士に伝えてきた。

2016年、エルシーシ大統領（エジプト）の日本公式訪問の機会に、安倍晋三総理及びエルシーシ大統領は、教育に関する共同パートナーシップ「エジプト・日本教育パートナーシップ（EJEP）」を発表した。本プロジェクトはエジプト・日本教育パートナーシップのもと、エジプト社会連帯省と協働し、保育園における「遊びを通した学び」の実践による保育の質向上（非認知能力向上を含む）及び保育の大切さを保護者、地域社会に啓発・普及する活動を実施したものである。

### プロジェクト対象5地域



## エジプト国における保育分野の課題

### (一般)

- ・ 保育所（4才以下対象）に通う子の割合は8%弱、幼稚園に通う子の割合は30%程度であり、保育サービスの量が不足している。

### (保育園)

- ・ 保育環境の未整備、保育従事者の知識不足、定着率の低さが指摘されている。
- ・ エジプトの保育の特徴：保育者主導、就学を強く意識し、知識偏重型が多い。
- ・ 保護者の保育、遊び（中でも子どもの自発的な遊び）の重要性への認識不足。

### (保育行政)

- ・ 保育行政の計画的な執行（保育園登録業務、補助金支給、保育園活動のモニタリング評価、保育士の資質向上訓練、保育園統計の整備等）が行われていない。
- ・ 2021年3月、社会連帯省により Quality Standards for Nurseries が取りまとめられ、各県の保育行政官への研修(Administrative Management Kitによる)や、本プロジェクトが協力した保育士研修マニュアルの開発・実践、保育現場での活動に役立つ活動ハンドブック (Activity Booklet) の整備が継続中。同年10月からは教育省管轄の幼稚園のカリキュラムと一貫性を持たせた保育園のカリキュラム作りなどに取り組んでいる。上述のように包括的な仕組みづくりへの機運が高まっているが、急激な人口増加、劣悪な都市部の住環境の中で運営される未登録保育園の存在、保育分野へ配分される予算不足、保育行政を担う人材の不足などの問題がある中、仕組みと実際の行政が果たせる役割の乖離が懸念されている。
- ・ 新型コロナ禍下、子どもたちの受け入れ人数の制限、衛生管理対策を講じた施設環境整備に必要な予算の不足、保護者がもつ感染不安への対処、三密になりがちな保育活動への懸念などの問題を抱え、脆弱な保育園の多くが経営存続の危機に見舞われている。

## 6. 活動目的・成果

目的：パイロットエリアにおいて、「遊びを通じた学び」の導入により、保育園での就学前教育・保育の質が向上する。

成果1 「遊びを通じた学び」を実践する保育士の能力が向上する。

成果2 保育の質を確保すべく、社会連帯省および同省地方支部の保育園に対するモニタリング制度が改善される。

成果3 「遊びを通じた学び」を実施するための周辺環境（エジプト社会における「遊びを通じた学び」に対する理解）が改善される。

## 7. 活動内容：

### (成果1)：

1.1 指導書の作成：Activity Directions for nurseries-Learning Objectives by

age group and Collection of Learning through Play activities(通称 Activity Booklet) の編纂等

- 1.2 保育士育成一般研修の実施、本邦研修を通じた日本の保育行政・保育園視察
- 1.3 「遊びを通じた学び」の普及に資する現場指導、保育園同士の視察、砂場・コーナー遊び・乳児保育の積極的導入
- 1.4 コロナ感染拡大を踏まえた感染症対策研修

(成果 2) :

- 2.1 Quality Standards for Nurseries 取りまとめ作業への技術的助言
- 2.2 日本の保育行政関連文書の提供
- 2.3 エジプトにおける行政と保育園をつなぐモニタリングの仕組み案の提示
- 2.4 モニタリング活動の実施・仕組みづくり

(成果 3) :

- 3.1 保護者・コミュニティーに対する啓発活動の実施
- 3.2 啓発活動の全国展開に向けた計画立案

8. 達成状況 :

(成果 1) :

1.1 指導書の作成

- Quality Standards for Nurseries の4つの領域 (Emotional & Social Skill, Physical Development, Cognitive Development, Language & Communication development) に沿った「遊びを通じた学び」の175のアイデアをまとめた指導書を編纂した。この指導書には、発達段階に応じた保育の在り方一覧、保育環境の設定モデル、推薦絵本紹介、具体的な教材等が付属されている。  
92園での試行、アレキサンドリア大学幼児教育学部による監修を経て社会連帯省に提出、大臣の承認待ち(2021年10月末段階)。
- 新型コロナの影響で帰国・待機となった協力隊員と作成した遊びのアイデア集「Create Your Joy」を対象50園に加え350園に配布し活用を図った。

- 1.2 保育士育成一般研修の実施、本邦研修を通じた日本の保育行政、保育園視察
  - 保育者や園長、プロジェクト対象5地域のプロジェクトコーディネーターを対象とした研修を実施。

【第1回目研修】

2018年:

日本の保育士養成施設のカリキュラムを参考にしながら、保育者研修を実施した。74名の参加者に研修修了証明書を授与。

【第2回目研修】

2019年:

社会連帯省「就学前教育・保育のための国家プログラム(National ECD

Program)」との連携のもとアレキサンドリア大学が研修を実施。42名の参加者に研修修了の証明書を授与。

#### 【第3回目研修】

2021年：

対象5県において250園に規模を拡大して実施。209名の保育士に修了証を授与。UNICEF、アレキ大学と協働で、研修コンテンツの開発、マニュアルを作成。今後の保育士研修のベースとなることが期待される。

- 上記研修に加え、保育園同士の視察、意見交換会を実施。
- 2017年度、2018年度、2019年度の計3回、鶴見大学短期大学部(神奈川県)の協力のもと本邦研修を実施。 ※2018年度は東京学芸大学も協力

2017年：

対象：社会連帯省本省およびプロジェクト対象地域の行政官13名

内容：「遊びを通じた学び」の理論・実践、日本の保育現場視察

2018年：

対象：社会連帯省大臣アドバイザー、カイロ大学就学前教育学部長含む政策立案担当官7名

内容：日本の保育・幼児教育政策、保育者養成施設制度、日本の保育現場視察

2019年：

対象：社会連帯省本省職員、ナショナルプログラム対象地域支局行政官、研修・普及活動を担うNGO職員14名

内容：「遊びを通じた学び」の理論・実践、日本の保育現場視察

#### 1.3 「遊びを通じた学び」普及に資する現場指導、保育園同士の視察、砂場・コーナー遊び・乳児保育の積極的導入

- 砂場遊び、コーナー遊び、そして、エジプトではまだまだ認知を得ていない乳児保育の普及にむけた現地研修・現場での指導を実施。必要な資機材を提供。

【砂場遊び】砂場設置(12か所)、砂場用遊び道具など

【コーナー遊び】重ね式机、おもちゃ、絵本など

#### 1.4 新型コロナ感染拡大を踏まえた感染症対策研修

- 対象県300園に対し感染症対策研修を2021年1月から3月にかけて実施。研修に合わせて、保育園の再開に必要なとされた衛生用品、靴箱、扇風機、ぬり絵などを供与。

(成果2)：

#### 2.1 Quality Standards for Nurseries 取りまとめ作業への技術的助言

- 大臣アドバイザーからの要請を踏まえ、2017年度版に対しての意見提出、また、2020年版に対しても同様に意見提出を行った(ECD分野 JICA 専門家対応)。

## 2.2 日本の保育行政関連文書の提供

- プロジェクトでは、以下を社会連帯省に提供、保育行政への活用を提案。
  - ・ Guideline for Baby and childcare and education in nursery schools/Japan
  - ・ Guidelines for Evaluation in Nursery Schools reference materials (Self-Evaluation sheet for nurseries)
  - ・ Guidelines for Infectious Disease Control in Nursery Schools/Japan
  - ・ Child rearing support worker training program
  - ・ Issues and Prospects for Child Welfare Policy in Japan
  - ・ Childcare system and policies in Japan
  - ・ A Glimpse of Yokohama's Children's Day Care Policies etc

## 2.3 エジプトにおける行政と保育園をつなぐモニタリングの仕組み案の提示

- 2019年7月には、モニタリングモデル（行政によるモニタリング及び保育園内での活動モニタリング）に係る提案書を社会連帯省に提出。

## 2.4 モニタリング活動の実施・仕組みづくり

- 前大臣アドバイザー2名の辞任、及びモニタリングモデルの基礎となる Quality Standards（その指標となるルーブリックス）の社連省内での見直し作業が遅れにより、モニタリングモデルの検討が進んでいない。社会連帯省は、右作業を National Authority for quality assurance and accreditation of Education (NAQAEE) と連携して行うとしている。
- 社会連帯省は、2021年5月に、県における保育行政の進め方を示した Administrative Management Kit を取りまとめ、各県の支局職員の研修を開始。この Kit の中にはモニタリングについても言及があり、今後、プロジェクトの提案書、Quality Standards の見直し作業も踏まえて、実現可能なモニタリングの仕組みを構築していくことが期待される。

(成果3) :

### 3.1 保護者・コミュニティに対する啓発活動の実施

- Eat Well、Play Well、Sleep Well をキーワードに保護者・コミュニティの保育に対する意識改善を目指すワークショップを実施。子育てにおける家庭の役割、遊びから学ぶことの重要性について伝えてきた。

#### 【食育】

中近東地域における食育のエキスパートとして著名な Dr. Magdy による講演会を中心に活動を展開。2019年度にはプロジェクト対象県に加えナショ

ナルプログラム対象県においても講演を実施。

2018年度 対象5県 10か所 1038名参加

2019年度 対象6県 6か所 893名参加

#### 【親子ふれあい体操】

親子体操ワークショップは2019年6月以降、JICA 専門家による指導を実施。2020年3月には日本における親子ふれあい体操普及第一人者である早稲田大学前橋明研究室関係者が来エし講演を実施。（詳細は長谷川専門家最終報告書参照）

#### 【砂場を使った自発的な遊び】

砂遊びから子どもたちは多くを学ぶことに着目し、プロジェクトでは砂場を設置し、日々の砂遊び活動を促した。保育園が自主的に保護者会を実施し、砂遊びの教育的意義の更なる理解、実践報告をする活動を支援。

2018年 保護者対象の砂遊びの教育的意義 保護者会 712名参加

#### 【絵本の読み聞かせ】

プロジェクトでは、総計5400冊の絵本を対象50園に対して供与。保育園での絵本読み聞かせ活動の普及に力をいれた。また、寝る前の絵本の読み聞かせを奨励するため、絵本作家による講演を対象5県で実施。

### 3.2 啓発活動の全国展開に向けた計画立案

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、啓発活動の全国展開に向けた計画立案には至らなかった。2019年には、「National ECD Program」の要請を受け同プログラム実施対象地域で食育啓発活動をおこなったが、コロナ収束後には、全国展開に向けた計画立案が期待される。

### 9. 具体的成果品リスト：

- ・ Training materials for Learning through Play based on the Quality Standards
  - Activity Booklet for infants 1 months- 24 months in the nursery
  - Activity Booklet for children from 2- 4 years in the nursery
- ・ Training Materials for Infants' care
- ・ Training Materials for Sand Play
- ・ Training Materials for Corner Play
- ・ Training Materials for Nursery Personnel with UNICEF and Alex University
- ・ Lecture materials for Food Education
- ・ Create Your Joy Collaborative work
- ・ Brochures for Physical activities
- ・ Lecture materials for Reading books
- ・ Recommendation guide for picture books
- ・ Training Materials for Precautionary measures for COVID-19
- ・ Administrative documents of Japan 上記8 2.2を参照